



第56回県下10kmロードレース大会

Contents

平成19年第4回定例会	2～3
一般質問	4～8
平成19年第2回臨時会	8
視察研修報告	9
議会日誌・編集後記	10

うたづ議会だより

電子メール：gikai@town.utazu.kagawa.jp

発行：宇多津町議会

〒769-0292 香川県綾歌郡宇多津町1881

☎ (0877) 49-8014

編集：議会広報特別委員会

平成19年 第 4 回 定 例 会



答弁する谷川町長

主 な 内 容

平成十九年第四回定例会は十二月七日から十二月十七日まで開催され、発議一件、議案十二件を審議した。また一般質問には九人が登壇し「まちづくり委員会の今後」「人口増に向けての施策」「放課後子どもプラン推進事業」「町内の公園遊具の老朽化への対応」「宇多津における農業について」「住民基本台帳カードの普及」「中学校旧体育館工事の取り組み」「地方税制改革」「後期高齢者医療制度」などについて活発な議論が交わされました。

- 平成十八年度宇多津町一般会計歳入歳出決算認定（継続審査）
全会一致で決算認定
- 平成十九年度宇多津町一般会計補正予算（第三号）について
全会一致で原案可決
- 平成十九年度宇多津町国民健康保険特別会計補正予算（第二号）について
全会一致で原案可決
- 平成十九年度宇多津町介護保険特別会計補正予算（第一号）について
賛成多数で原案可決
- 平成十九年度宇多津町下水道事業特別会計補正予算（第一号）について
全会一致で原案可決
- 宇多津町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
全会一致で原案可決
- 宇多津町道路占用条例の一部を改正する条例について
全会一致で原案可決
- 町営住宅管理条例の一部を改正する条例について
全会一致で原案可決
- 発議第十一号
公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書について
全会一致で原案可決

平成19年度宇多津町一般会計補正予算(第3号)

補 正 額 1億8,694万円
補正後の総額 57億2,746万5千円

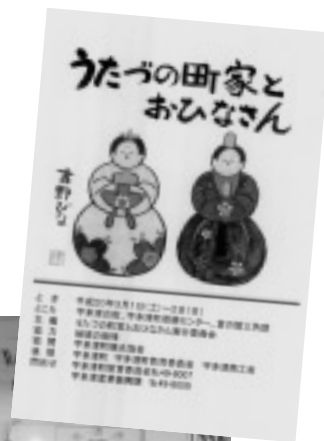
(内訳) (単位: 千円)

歳 入	補 正 額
配 当 割 交 付 金	6,800
地方特例交付金	1,106
県 支 出 金	4,100
財 産 収 入	2,344
繰 越 金	172,590
歳 入 合 計	186,940

(内訳) (単位: 千円)

歳 出	補 正 額
議 会 費	△1,000
総 務 費	150,969
民 生 費	25,367
衛 生 費	△6,000
農 林 水 産 業 費	113
商 工 費	△3,423
土 木 費	10,048
教 育 費	10,866
歳 出 合 計	186,940

町家とおひなさん
ガードマン等費用に17万円



福祉センター入口滑り止め工事に35万円

平成19年度特別会計補正予算

(単位: 千円)

名 称	補 正 額	総 額
国民健康保険特別会計(第2号)	62,807	1,399,472
介護保険特別会計(第1号)	20,218	791,874
下水道事業特別会計(第1号)	2,348	945,232

平成19年度水道事業会計補正予算(第1号)

(収益的支出) 補 正 額 △494万7千円
補正後の総額 3億5,749万7千円

Q&A

学校図書の実と まちづくり委員会の今後

Q 図書廃棄基準の設定と蔵書管理のデータベース化を

図書充足率が国の標準以下の学校は、不足冊数をどのように改善するのか。また、学校図書室では、適切で優れた図書の選択収集に努め、かつ常に蔵書の更新を行う必要がある。そこで、図書廃棄基準の設定と蔵書のデータベース化を実現し、ユーザの図書館との情報交換や連携を考えてはどうか。

A 藤原学校教育課長

中学校では確かに標準冊数が不足していますので、財政状況も検討しつつ、平成二十三年度を目標に不足数の解消に努めたいと思っています。

また、文書として（図書の）廃棄基準というものは作っていませんが、データベース化については、費用等もかかりますので、今後、教育用パソコンの更新に併せて検討したいと思っています。

また、ライブラリーうたで学校図書に詳しい方がおいでたらアドバイスを受けた情報交換を行いたいと思っています。

Q 旧農協倉庫を事務所にしての、陣容と活動展望は

「宇多津まちづくり委員会」の役割と行政との関係、及び「古街再生整備基本構想の策定」の内容と委員会との関係を伺いたい。次に、旧農協倉庫を改装し、西半分を事務所にして活動されるが、どのような形態・陣容で、いつまで研究協議を続けるのか。また、将来の展望や方向性も伺いたい。

A 谷川町長



大松喜次郎 議員

私は、かねがねまちづくりは住民の参加、また、参画のもとに町をつくりていくのがよいと申し上げてきました。そこで、自らの街は自らでつくるという基本姿勢に立ち、既成市街地・特に古街の再生は、まちづくりの懇談会・整備検討委員会・まちづくり委員会・まちづくり委員会と、専門家の方々のご意見を聞いたり、あるいは公募して住民の中から委員会に参画いただいたりしながら、四回、会合を重ねてきました。その御意見に沿って、現在まちづくりが前進しています。行政と町の委員会との関係というのは、そのような基本姿勢のもとで取り組んでいます。次に、再生整備構想の策定ですが、四回の会合の御提言、指摘を勘案しながら、委員会の御提言を基に、古街のこれから再生するべき姿というものを御見せしたい。そのような観点から、策定委員会では、専門的な方々のご意見を聞いて、まちづくりを行い、まちづくりの構想を決めたいと考えています。景観に関する事柄等を含め、いろいろと御検討、提言をいただき、構想を策定いただくことになると思っています。また、まちづくりは無制限に課題があり、将来に備え、いろいろな課題に対し住民と一緒に考えて進めたい、将来ともそのような方向でまちづくりを進めたいと思います。農協倉庫については、街づくりの拠点にしたいと考えており、展示、イベントをしたりということが主体で、常設の事務所は考えていません。倉庫の運営のための委員会を立ち上げ、そのもとで運営規定を作っていたり、運営していたり、運営したいようにしたいと思っています。

町内の公園遊具の老朽化への対応と安全点検を。

Q 全国で、公園遊具の老朽化による事故が相次いでいる。

また、利用者からの苦情があったが、公園の遊具や砂場などの安全点検はどうなっているのか。

A 北本建設課長

老朽化した危険な遊具は、国土交通省の遊具の安全に関するガイドラインに沿って、撤去、更新を現在実施しています。

安全点検ですが、各公園とも月二回程度、担当職員が現地を確認して安全確認を行っています。その際、ごみや砂場のガラス等が目につけば回収しますが、すべての公園を完全に実施することはなかなか困難ですので、利用する方々のご協力も必要と感じます。

Q 町の呼びかけで、花植えボランティアを増やす努力を。

年2回、駅前、役場前を中心に「うたつ花と緑の会」が花植えをしているが会員の高齢化が懸念される。

A 北本建設課長

通学路にもなっている場所では、小学生、PTAなどにも呼びかけて、地域の行事として花植えに取り組んではどうか。



西本弘子 議員

アダプショナルプログラムを導入してボランティアを募ろうと考えています。活動を町全域に広げるための一つ目の方法として、近々広報紙で呼びかける予定にしています。二つ目の方法として、来年度、新都市の主要な道路について、沿線のお店、住民の方々に、家、お店の前の道路部分の清掃、植栽への水やりについて協力をお願いする運動を予定しています。住民の方々の協力がないと、役場だけではきれいで快適なまちづくりはできません。新都市には公共施設が充実しており、植栽もたくさんあります。皆さまのご協力で宇多津町をもっと良い町にしていきたいと思っています。

やすらぎプラザ等に 浴室の増設は出来ないのか



谷川俊博 議員

Q 町内の唯一の銭湯が閉店し、保健センターの歩行浴を再開し入浴が出来るように、迅速な対応を頂きましたが、それも水漏れ等で使用が出来ない状態で、現在のワゴン車で坂出の銭湯まで送迎をして頂いております。しかしこれも、応急的なものであります。介護予防、高齢者福祉事業の観点から介護予防拠点施設である、やすらぎプラザ等に浴室の増設とは出来ないか。

A 谷川町長 介護予防・高齢者福祉については、保健、医療、生活習慣の三つの観点でとらえながら、総合的に行政を推進していかなければならないと考えています。御質問の入浴サービスの対象者は自宅にお風呂のない方を基本としており、三月末まで坂出市内の銭湯への入浴サービスを実施しています。今後については、その結果などを参考として、予算措置が必要となれば対処したいと考えています。また、やすらぎプラザ等へのお風呂の増設については、町の財政、建設方法、維持管理費などを総合的に考慮する必要があります。それらについて研究する期間をいただきたいと考えています。

Q 放課後子どもプラン推進事業について

放課後児童健全育成事業において、今回、ソフト面で基準開設日数の設定等、ハード面では、新たに実施する際の、備品購入費の

補助の創設など、変わってきたが、その対応は、また、平成16年度から、国の緊急3ヵ年計画「地域子ども教室推進事業」、引き続き19年度からは、「放課後子ども教室事業」として、放課後スポーツ教室を開催して参りましたが、今年度の実施状況、これまでの成果は、どのように判断なされているのか、今後、どのように対応されるのか。

A 谷川教育次長

放課後児童健全育成事業のソフト面では、今年度から国の基準開設日数が二百五十日以上に改定（平成二十一年度までは二百以上二百四十九日以内の経過措置）され、本町においては、今年度は二百八十八日の開設予定であり、時間を三十分繰り下げて午後六時まで実施しています。今後は、夏休みや冬休みの期間中の開設も視野に入れて基準日数をクリアしたいと考えています。ハード面では、新規に事業を実施する場合の備品購入費が補助対象になるため、事業を既に実施している本町は対象外となります。

放課後子ども教室事業については、うたづ子スポーツ教室を開設し、三十名の児童が、卓球、バドミントン、グラウンドゴルフ、ドッジボールの種目に参加しています。指導者として地域の方々に御協力いただいております。他、校や地域との交流、スポーツの楽しさや習慣化が身に付いていると思います。この事業以外にも、小学高学年を対象に、夏休みの期間中に町内の寺社を活用した寺子屋教室を開設しています。

今後、これらの事業を、指導者を始め住民の方々の御理解と御協力を得ながら、引き続き実施してまいりたいと考えております。

人口増に向けての施策は？



香川虎生 議員

Q 町営住宅の今後の方針は。子育て世代への定住施策は。南部地域の開発計画は。

A 谷川町長

人口増に向けてのまちづくりですが、次の国勢調査までに人口二万人を目標にしたいと考えており、そのために総合的な施策を展開していくことが大切であると考えています。

その基本となるのは皆さまにお示しをしています長期振興計画であり、それを受けての地域福祉計画、次世代育成支援行動計画とか各般の計画であり、その計画に沿った事業をその時代への対応を途中で見直しをしながら、展開していかなければならないと考えています。具体的には、子育て支援施策の充実とか、教育の問題が大きな課題であると考えています。

町営住宅についてですが、現在、宇多津町の公的住宅の世帯は、町営住宅と県営住宅を合わせると全世帯に占める割合が十一%を超えており、県下でも非常に高い割合となっております。また、民間における住宅供給も非常に増えており、こうした状況

Q 給食費の値上げはあるのか？

光熱費の値上げによる対応は。食料や牛乳なども値上げが予想されるが、PFI契約での対処方法は。

A 谷川教育次長

光熱費の値上げについてですが、当給食センターは省エネを取り入れた施設であることもあり特段影響は受けないと考えています。また、PFIの契約内容は、著しい物価変動が生じた場合には、平成二十一年度以降に一食あたりの給食費の改定を前提として協議を行うこととなっております。来年度は現状のまま据え置くというところで、値上げはございません。

Q&A

宇多津における農業について

Q

農業はいま戦後最大の曲がり角にきています。農業委員会をはじめ行政や農協、水利組合等それぞれ連絡を取り合い優良な農地の保全、管理をしていきたいと思いますが行政の考えをお聞かせください。

A

宮本産業振興課長

宇多津における農業についてですが、宇多津町は農振地域ではありませんので、国の支援を受けて農業を行うことは考えにくいと思います。そういった中で、生産者が直接消費者に売買したり市場に出荷したり、また女性の力をかりて二次製品をつくるというようなことで、地産地消していくことを考えなければならぬというふうに思っています。

町としては、そういう意欲のある農家の方に対して支援を行うことで、宇多津型の農業経営を今後考えていきたいというふうに考えています。

Q

鴨田川の改修について



池田弘昌 議員

現在の進捗状況をお知らせください。

A

北本建設課長

鴨田川改修の進捗状況についてですが、第一工区につきましては、総事業費は約十一億円、今までに四億八千万円ほどの契約を行っていますので、事業費ベースの進捗率からいいますと、約四十五%です。



改修工事が進みつつある長縄手幹線水路

地方税制改革について

Q

税源移譲による所得税減と住民税増で結果土ゼロは全ての事例で正しいか。実際は住民税増の負担感が強いが、もともと所得税がゼロの人には何らかの処置があるのか。

A

谷川税務課長

平成十九年中の所得が大きく下がった場合、住民税だけが増税になり所得税の減額が行われないため、税負担がふえることとなります。この問題を解消するための措置として、税源移譲による減額調整が行われることになっています。このような十八年中の所得と十九年中の所得との変動に伴う住民税の税負担を調整するため、申告することによって経過措置が講じられることになっています。

税制改正のなかのプラ・マイ・ゼロという話のなかで、個々大まかな枠については国の方から周知されたところですが、当初税率だけを改正しただけではやはりゼロにはなりにくいというところで、調整措置が後々個々に具体的な方策として周知されたところとです。

Q

公衆浴場の将来的対策について

町内唯一の公衆浴場が廃業され、現在利用者に対し坂出まで無料送迎バスで対応しているが、バスの利用者

数と将来的な対策の考えがあれば示していただきたい。

A

亀井保健福祉課長



藍川佳津樹 議員

坂出市の公衆浴場までの送迎利用者は、初日の十二月三日が六人、以後七人、十人、昨日は九人と、大体十人以下の利用となっています。将来、町が浴場施設を運営することとは今は考えていません。寒い期間は送迎を行いつつ、保健センターでも年間を通して温水シャワーを利用できるようにしています。

A

谷川町長

課長が答えたように現実対応をしておき、将来的にも浴場ということと考えると財政上、受益者負担の問題から言ってもなかなか難しいと私も思っています。しかし、住民の福利厚生施設の全体的なものを検討するなかで、その施設にそれが必要で、それも中身に入れ込んでいくことで考えられるというのは無きにしもあらずです。ただ、この施設の管理運営は非常に後に尾を引いてお金がかかることから、まちづくり会社なりNPO法人がまちづくりのために育ってもらいたい、そういう方々が生まれてくれば、そういう方々のお力添えでこのことも共に考えることではないかというふうに思っています。

後期高齢者医療制度 見直しについて

Q

平成20年4月から実施する、75歳以上の後期高齢者医療は高齢者の療養の機会を著しく制限した最悪の医療改悪です。内容が知られるにつれて住民の大きな怒りが巻き起つていきます。

医療費の増加の主要な要因は、慢性疾患、悪しき生活習慣の積み上げと断定し、その基本は自己責任とすること。また一人頭の保険料案は、香川県は年間97,000円です。保険料は高齢者全員の年金から天引き、保険料の滞納者は保険証を取り上げる、苛酷で無慈悲な制度です。後期高齢者医療制度の撤回、中止を谷川町長に求めます。

A

亀井保健福祉課長

後期高齢者医療制度は、来年（二十年）四月から七十五歳以上のかたが全員入る保険です。負担ですけれども、保険からの医療給付費を五割、そのうちの五割は国と県と市町村で負担します。あと四割は七十四歳までの方が負担します。残る一割は七



井原猛雄 議員

十五歳以上の方で負担していただくというような制度になっています。保険料は先般、広域連合の方で決まりましたけれども、均等割が四万七千七百円、所得割が八・九八%というふうに定まりました。

この医療制度撤回とか、実施中止を求めるという御発言ですが、法律に基づいて各都道府県の、香川県であれば県下全市町村が加入ということになっており、今年一月に広域連合が発足しています。法的には脱退は考えられることではないのですが、もし本町だけが辞める、この制度に乗りませんとなると、平成十八年度の決算の老人保健の給付費が約十二億円ありますが、毎年十二億円を宇多津町自身が何とかしなければなりません。住民の方に御負担いただかないと、というふうなことになるのかねませんので、まず、現実的にこういった中止をする、宇多津町だけ中止にすると、脱退をするということはできないということでございます。

住民基本台帳カード （住基カード）の普及 を図るべきでは

Q

住基カードは写真付なら公的身分証明書として利用できます。まだまだ認知度の低い住基カードの普及施策はありますか。

A

西山住民生活課長

町の住民基本台帳カードの発行状況は百三十枚であり、人口比にするとう・七%です。香川県の平均は、○・四四%、全国でも○・七二%で非常に低い普及率であります。当初は、町広報紙、ポスター等で周知をしましたが、その後はあまりしていません。今後は、再度、カードに付随しての公的個人認証等の周知を十分していき、カードの普及促進に努めていきたいと考えています。また、カードの多目的利用については、国において提示がなされており、カードの取得率がある程度上がった段階で検討していきたいと考えています。

Q

十楽寺墓地内には数多くの無縁墳墓が放置されています。人道的にも思慮すると改葬するべきではありませんか。

A

西山住民生活課長

墓地をいったん設置しますと、それは永遠のものであり、むやみに手をいれるべきではありません。また、そこには骨が埋まっており、いわゆる埋葬されているということでありますから、改葬等についてはなかなか手続き等が難しかったようです。したがって、長い間このような状況になっていると思われます。今後は、無縁墳墓の現状を十分調査した上で検討していきたいと考えています。



平田弘次 議員

Q&A

中学校旧体育館工事の 取組について



宮本 隆 議員

Q

工事中の騒音対策、工事区域周辺の安全対策はどのようなになっていますか。また、時期的にも受験前であり、授業に影響のない対策をとって頂きたいと思いますが、どのようなお考えですか。

A

谷川教育次長

工事区域周辺の安全対策については、施工業者に計画書を提出するよう指示していますので、それが提出され次第、学校や関係者と十分協議して、安全対策を講じていきたいと考えています。また、一月から旧体育館東側のひさし部分のコンクリートの撤去を予定しています。日数は二週間程度であり、一時的に騒音が発生し、学校や生徒に迷惑をかけることになりましたが、極力授業に支障がでないような取り組みをしたいと考えています。

Q

児童・生徒の好成績公表の場について

小学生・中学生の中にはスポーツ等色々な大会で優秀な成績を収めた子どもたち、全国大会に出場した子どもたち、選抜メンバーに選ばれた子どもたちがいます。その子どもたちについて、たくさんの方が集まる場所では好成績を公表してはどうでしょうか。

A

山分教育長

優秀な成績を残した人を公表あるいは称賛するということは重要な教育活動の一環であると考えています。現状は、全校集会での表彰、学校新聞・校内表彰、掲示板での公表、町広報紙・ホームページへの掲載、町長・教育長への表敬訪問等を実施しています。

今後は、優秀な成績の基準は別として、例えば、全国大会に出場した人には、教育委員会の教育功労者として表彰してもよいのではないかと考えています。

平成19年 第2回 臨時会

第二回臨時会での審議結果

平成十九年第二回臨時会は十一月二十一日に開催され、議案二件について審議されました。

議案第四十一号

坂下墓地整備事業に伴う土地の取得について

賛成多数で原案可決

議案第四十二号

宇多津中学校旧体育館耐震補強及び修繕工事請負契約の締結について

賛成多数で原案可決



耐震工事が始まった中学校旧体育館

研修報告

視察研修報告

議会運営委員会

菰野町議会を視察研修して

議会運営委員会は、10月22日に三重県三重郡菰野（こもの）町の町議会を視察研修しました。三重県の北部に位置し、四日市市から約15kmのところにあります。観光拠点である湯の山温泉と御在所岳があり、人口は4万人で議員定数は21人ですが、平成20年11月から18人となります。菰野町議会の特徴は、「定例会での会派代表質問」「対面方式の一問一答で



最新設備の整った菰野町議会議場

の一般質問」「質問内容等の情報発信」「議場内の最新設備」です。

会派代表質問は、対面方式で、最初の質問を30分以内で再々質問までとし、持ち時間は答弁を含めて60分以内です。一般質問は、最初の質問を20分以内とし、再質問から一問一答対面方式で、持ち時間は答弁を含めて60分以内です。しかし、会派代表質問と一般質問の内容の区別がありません。情報発信については、事前に質問内容をホームページに掲載し、議会事務局等で内容資料を配布します。ホームページには、過去の質問内容も100%掲載しています。また、「誰が」「いつ」質問するかを防災行政無線で放送し、当日は庁舎ロビーのモニターで議会映像を放映しています。議場内の最新設備は、モニターを議場に4台傍聴席に2台設置し、資料や写真等を映し出して質問をすることができるようになっています。今後、菰野町議会等を参考にして、迫力があり深い内容になる「一問一答対面方式」を考え、多数の住民の方のご参加を頂きますように事前質問内容を知らせる方法を検討したいと思っています。

防災対策特別委員会

視察研修先

福岡県遠賀町、福岡市玄海島

防災対策特別委員会は、11月14日、15日、福岡県遠賀町、福岡市役所、福岡市玄海島に視察研修を行いました。遠賀町は、北九州市の西側に位置し、人口19,687人で、北九州市のベッタタウンとして発展しており、町の7割が海抜0m地帯で、水害の多い町です。平成17年には、福岡西方沖地震もありました。町は防災マップ、洪水ハザードマップを作成して、全世帯に配布しています。災害のときは、職員は携帯メールによる（呼び出し君）で各グループに送信され、すばやく召集することができます。また、防災メール（まもる君）は誰でも利用でき、避難勧告、防災情報、安全情報などをメールで届けてくれます。

玄海島は、福岡市から20キロ沖に位置し、面積1.1km²、人口700人の島です。平成17年3月20日、福岡県西方沖地震で負傷者19名、避難者433人、住家被害214軒の被害状況でした。

現在は、「住宅地区改良事業」により、宅地造成工事、市営住宅の建設、

県営住宅の完成など、島の復興がなされています。仮設住宅もまだたくさんありますが、住宅地の造成が完了しているので、すでに住宅建設が始まっています。傾斜地には110世帯が建設予定しているそうです。急傾斜地が多いため改良住宅、エレベーターを利用した上下移動支援施設、島の中心部には、島民や訪問者が集まる賑わいゾーンの整備、公園の整備、玄海小中学校復旧事業、漁港施設等普及事業など、復興には総事業費100億円の費用が必要ですが、全島民の協力により被害状況に関係なく、全家屋の解体にも理解していただいたそうです。みんなで復興事業に取り組む姿が島全体いたるところで見ることができました。



玄海島の島民に当時の状況を聞く

議会日誌

11月

6日	議員総会・議員懇談会
14・15日	防災対策特別委員会研修
16日	議会運営委員会
21日	第2回臨時会・議会運営委員会
26日	臨海公園等再編整備特別委員会

12月

3日	議会運営委員会
4日	全員協議会
7日	第4回定例会本会議
11日	一般質問
12日	総務民生、建設教育合同委員会
13日	総務民生常任委員会
14日	建設教育常任委員会
17日	全員協議会・本会議
19日	議会広報特別委員会
21日	議員懇談会
28日	仕事納め

1月

4日	仕事始め
8日	議員総会
18日	議会広報編集委員研修
21日	議員総会・議員懇談会
23日	議員総会・議会広報特別委員会
30・31日	臨海公園等再編整備特別委員会研修

表紙の言葉



1月2日第56回県下10kmロードレース大会が開催されました

小学生 中学生 一般 壮年 それぞれの距離に総勢135人の参加がありました。

小学生はスタートから全力で駆け出して行きゴール前では順位をひとつでもよくしようと最後まで頑張る子供たち。その頑張る気持ちを今からも持ち続け人生という長いロードを走って行って欲しい。上り坂、下り坂疲れて休みたいとき、今からたくさんあると思いますが、ゴールすること自分のペースで走り続けること。これが一番大事なことです。

小学生は今スタートしたばかり。友達と励ましあいながら、人生というロードを駆け抜けて素晴らしい人生のロードレースにしてください。

開かれた議会を目指して

宇多津町議会では、議会活性化のために、様々な取り組みをしています。

- 定例議員総会（毎月第1火曜日）
- 『議会だより』の作成・発行（年4回）
- 日曜議会・夜間議会などの開催
- 各委員会による調査・研究など

ご意見等は議会へ

議会広報特別委員



西本弘子委員 大松喜次郎委員 宮本 隆 委員
平田弘次副委員長 青木義勝議長 香川虎生委員長

伊勢の名物に、よく似ている「赤福餅」と「御福餅」、「太閤餅」と「へんば餅」があります。去年、同一地域の四つの会社全てが、ずさんな不当表示をしたり、製造日偽装を行っていたことが発覚しました。すなわち、企業として拝金主義に陥っていました。企業経営の基本は、まず法令順守であり、その上で顧客を第一に考え、そして社会貢献をしていくことですが、創業時の志を忘れないことも大切だと思います。それから、今年の日本の企業は、更に2極化が進みます。躍進するグローバル企業と衰退する国内需要向け企業です。オイルマネーや中国の外貨獲得投資により、アメリカの市場経済主導主義の限界が見えてきています。これからは、行政の入り込む新たな規制が必要になってきます。

そこで、宇多津町の位置づけを香川県でなくて日本や世界で考え、初心を貫き、斬新な発想を持ちたいと思います。（K・D）

編集後記